
データ連携基盤 アーキテクチャのあるべき姿

一般社団法人コード・フォー・ジャパン
関 治之

関 治之

オープンソースGIS

Georepublic



HackCamp

CODE
for JAPAN

共創ファシリテーター

行政 x

II コミュニティ

LoanDEAL アドバイザー

総務省地域情報化アドバイザー
総務省地域IoT実装推進TF委員
内閣府オープンデータ伝道師



神戸市

チーフイノベーションオフィサー



東京都 DXフェロー



浜松市フェロー



西粟倉村フェロー



ともに考え、ともにつくる。

 CODE
for JAPAN

世界26カ国で「Code for xx」が活動

OUR PARTNERS

Code for All is a collaborative network, made up of organisations from all over the world.

CODE for AMERICA

Codeando México

SlashRoots

CODE FOR BRAZIL

CODE MOROCCO

code for Romania

CODE FOR PAKISTAN

CODE for JAPAN

GOV 零時政府

SinarProject

OpenUp

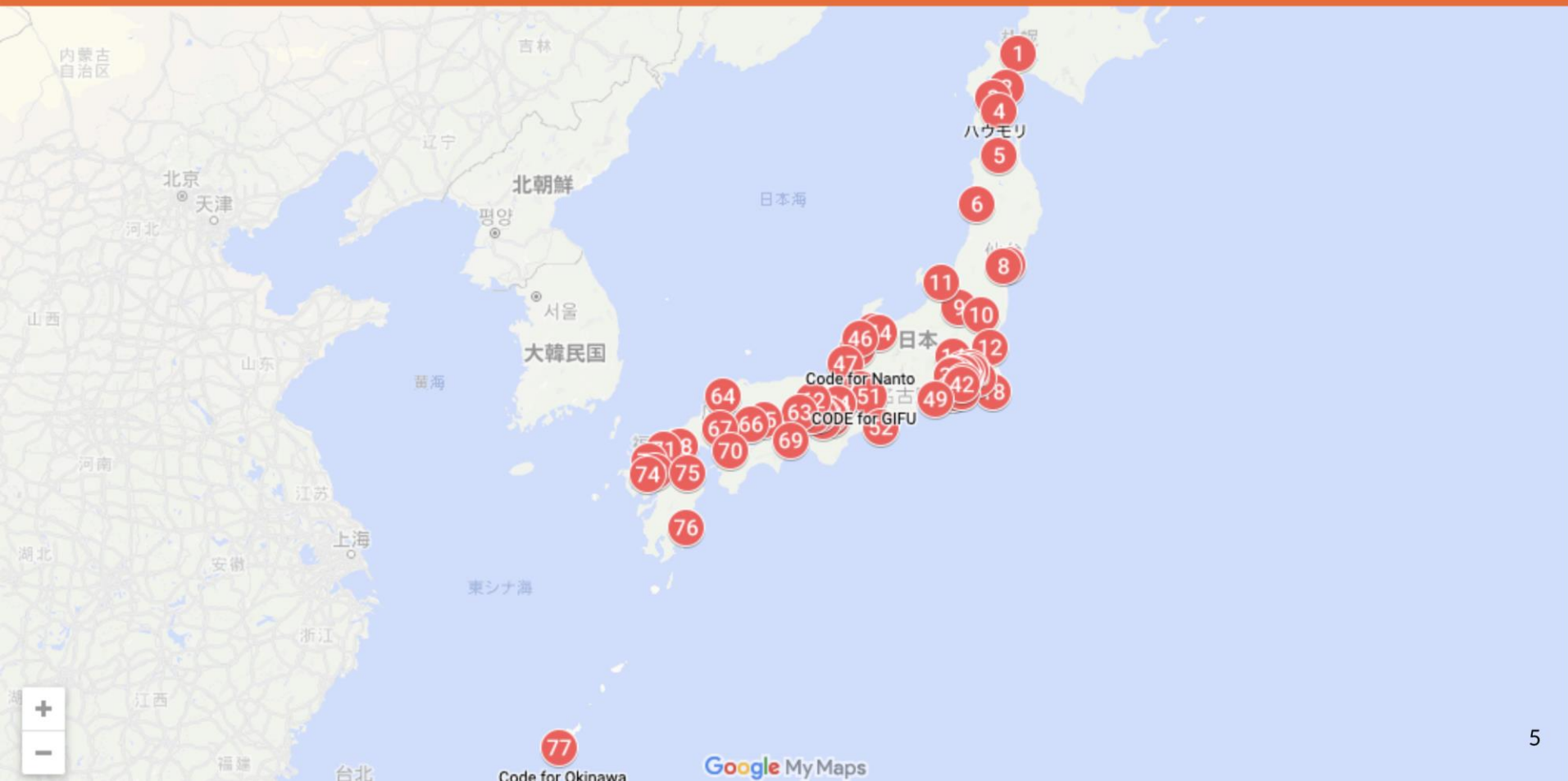
CODE CAMEROON

CODE TANZANIA

CODE for AUSTRALIA



全国、約80地域で「Code for xx」が活動



コロナ禍で生まれた様々なアクティビティ

ダッシュボード



検索サイト

VS COVID-19

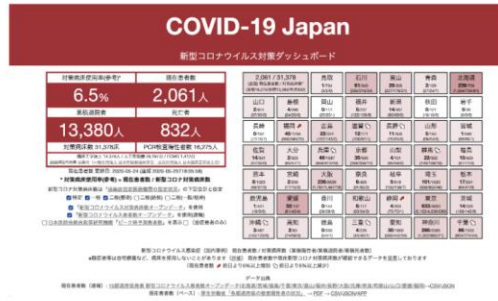
#民間支援情報ナビ

リアルタイム翻訳ツール

Face to Face での会話、Microsoft Teams、Skype for Business、Zoom、Cisco Webex、その他の Web会議ツール、伊電話などで話した内容をリアルタイムにテキスト翻訳、文字起こしします。

提供: フェユース株式会社
対象: 企業等、医療機関
費用等: 無料
提供期間: 2020年12月 - 2020年6月
発表日付: 2020-05-11

アイデア募集



VS COVID-19 IdeaBox

アイデア募集

268件

6. 言語・代替品

7. 外出自粛への対応

アイデア募集

NPO支援

POPULO 生活相談ナビ

流山テイクアウトマップ

流山テイクアウトマップ運営に寄附をお願いします

プロトタイピング

まもりあい Japan

接触確認アプリ

あなたのお悩みに合わせて
ご相談できる連絡先をご案内します

LINEで友だち追加

東京都の新型コロナ対策サイトをオープンソースで公開し改変を受付 & 他の自治体でも活用を推進

東京都サイト



400万人が利用

30以上の自治体で活用

ソースコード公開



GitHub

開発に参加



一般参加者



[グッドデザイン賞とは](#) [受賞対象一覧](#) [応募ガイド](#) [プロモーション](#) [年度別アーカイブ](#) [ログイン](#)

2020

 年度を選択 ▾ 特別賞を選択 ▾ [詳細検索を表示](#)

GOOD DESIGN GOLD AWARD | グッドデザイン金賞
[◀ 前のページへ戻る](#)
[一覧へ戻る](#)

東京都

 新型コロナウイルス感染症
対策サイト

多言語対応選択メニュー

Lang: 日本語

都内の最新感染動向

✨ 新型コロナウイルス感染症が心配なとき

✨ 新型コロナウイルスの感染が判明した方へ

🏠 ご家庭でのマスク等の捨て方

👨‍👩‍👧‍👦 お子様をお持ちの皆様へ

👤 都民の皆様へ

🏢 企業の皆様・はたらく皆様へ

東京都新型コロナウイルス感染症対策本部

東京都 新型コロナウイルス感染症 支援情報ナビ

都民利用施設・都主催イベントに関する情報

 都内の最新感染動向 最終更新 2020年9月10日 19:30 JST
最新のお知らせ

2020年9月10日 【9/10時点の都内患者数】入院患者数1,182人（確保病床数2,600床）、うち重症者数23人（重症病床数150床）
 2020年9月10日 【9/10の状況】新規陽性者276人、死亡者数0人、検査数6,006件（9/7 参考値）
 2020年9月10日 新型コロナウイルス感染症の患者発生状況に対し、ご質問の多い点についてお答えします。

感染状況・医療提供体制の分析

東京都では、都内の「感染状況」と「医療提供体制」を2つの柱として7つのモニタリング項目を設定しています。毎週、専門家による状況分析を項目ごとに行い、都内の感染状況と医療提供体制それぞれについて「総括コメント」として4段階で評価します。9月9日付の総括コメントは以下のとおりです。

> 最新のモニタリング項目の分析・総括コメントについて

感染状況

感染の再拡大に警戒が必要であると思われる

医療提供体制

体制強化が必要であると思われる

自分や家族の症状に不安や心配があればまずは電話相談をどうぞ

[相談の手順を見る](#)

モニタリング項目

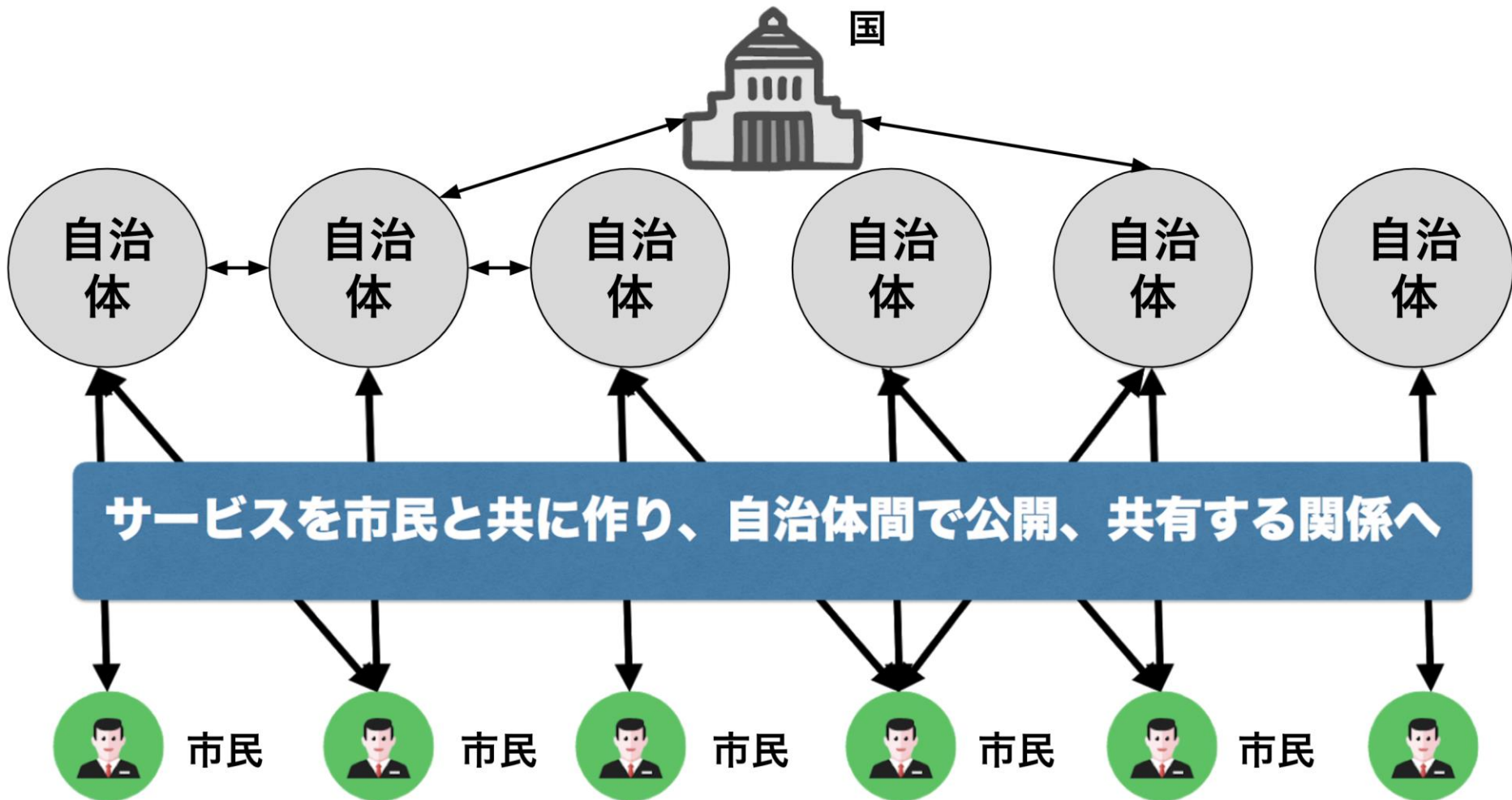
その他 参考指標

検査陽性者の状況

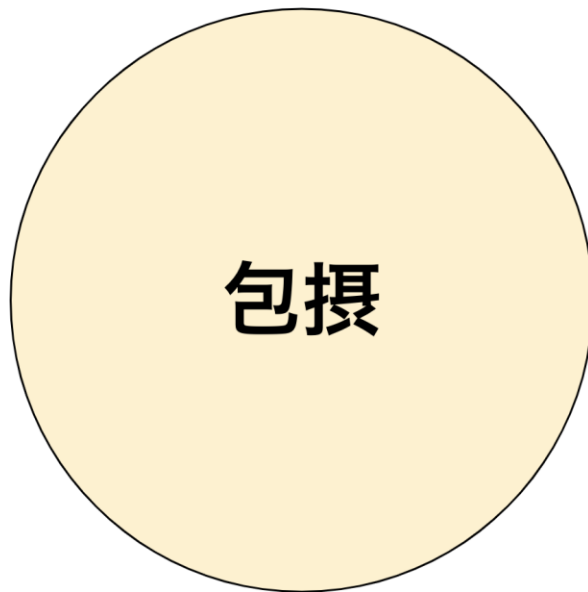
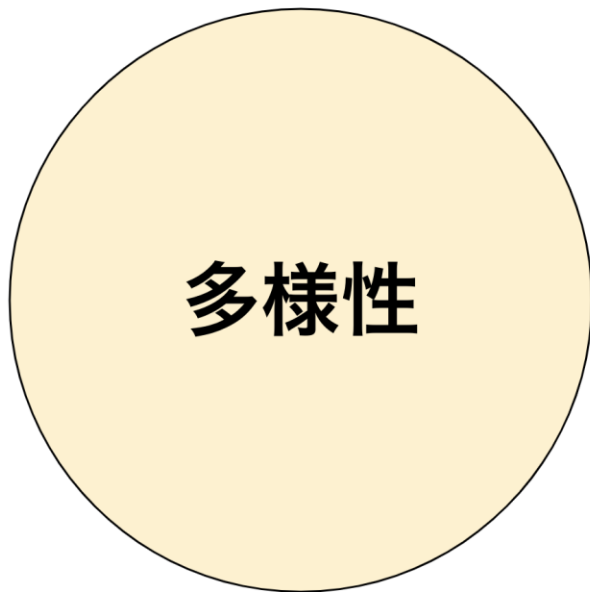
陽性者数(累計)

22,444人

報告日別による陽性者数の推移
276人
9月10日 日別値 (前日比: +127人)
[発症日別による陽性者数の推移はこちら](#)



テクノロジーで実現する、多様性と包摂



デジタルで対応することで、一律サービスではなく、
それぞれの人に対して個別化されたサービスを提供できる
「ともに作る」ことで、マイノリティの本当に必要なものが把握できる

スマートシティ関連の(IT)インフラ投資は、 あらたなレガシーに

- 新たな実証実験バブルにならないか？
- 最初は国から予算が出るかもしれないけど、
大事な運用部分の費用はどうなる？
- 「最先端の技術」は誰のため？
- 「利便性」と「持続可能性」ってどう両立するの？

▶ 「スーパーシティ」構想とは

地域の「困った」を最先端のJ-Techが、世界に先駆けて解決する。「スーパーシティ」構想はこうした「まるごと未来都市」の実現を、地域と事業者と国が一体となって目指す取り組みです。同構想は、内閣府特命担当大臣（地方創生）の決定により、開催された「スーパーシティ」構想の実現に向けた有識者懇談会がその基本構想を取りまとめました。

- ・ 「スーパーシティ」構想について（HTML版）
- ・ 「スーパーシティ」構想について（令和2年11月更新）（PDF形式：7,028KB） 
- ・ 「スーパーシティ」構想の実現に向けて（最終報告）（PDF形式：847KB） 



▶ 関連法令・関連閣議決定等

- ・ 「国家戦略特別区域法の一部を改正する法律」の成立について(令和2年5月27日)
- ・ 「国家戦略特別区域法の一部を改正する法律の施行期日を定める政令」及び「国家戦略特別区域法施行令の一部を改正する政令」の閣議決定について(令和2年8月25日)
- ・ 「国家戦略特別区域基本方針」の一部変更の閣議決定について(令和2年10月30日)

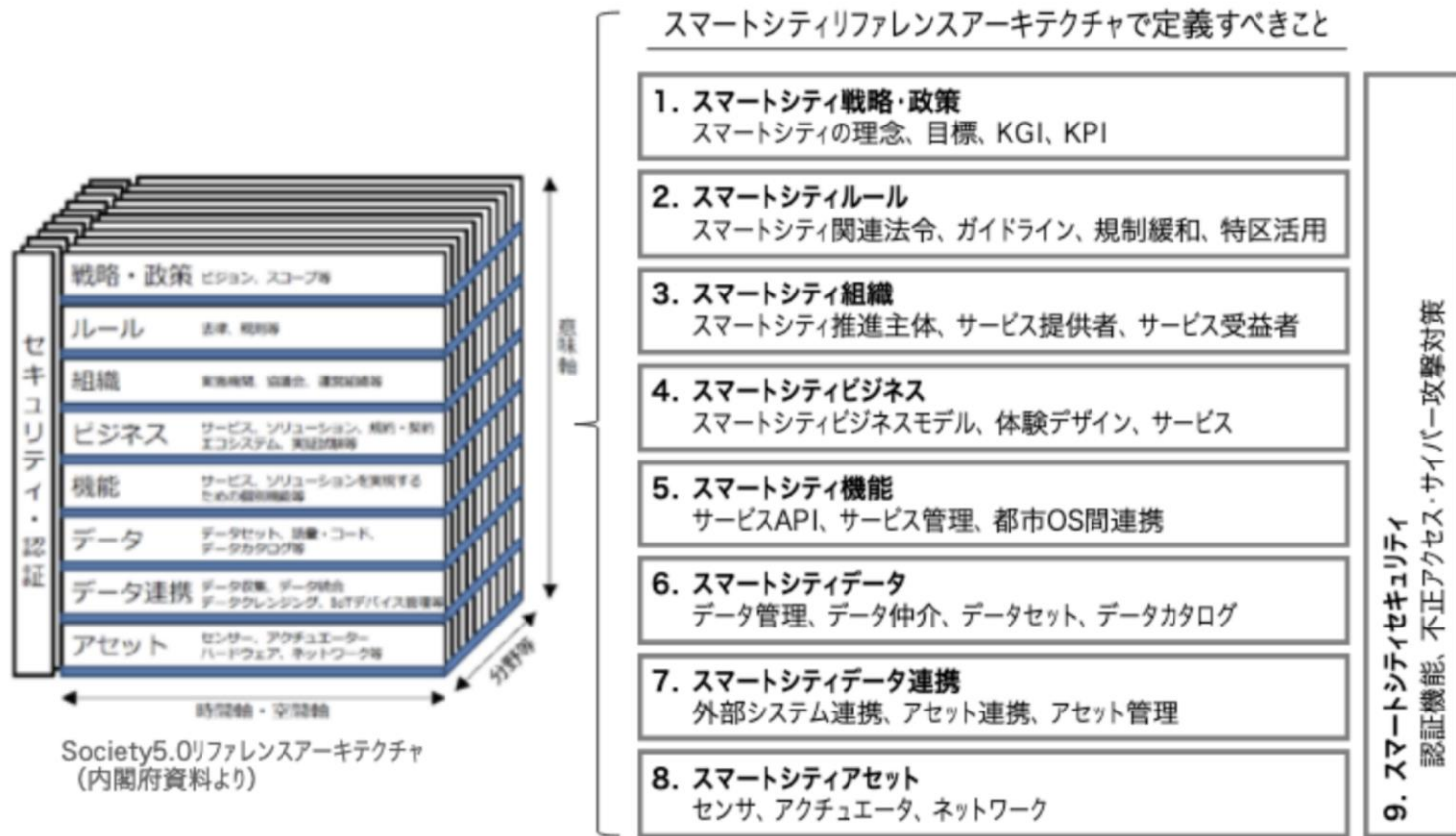
▶ 会議等

▶ 「スーパーシティ」構想の実現に向けた有識者懇談会

AI及びビッグデータを活用し、社会の在り方を根本から変えるような都市設計の動きが国際的に急速に進展していることに鑑み、暮らしやすさにおいても、ビジネスのしやすさにおいても世界最先端を行くまちづくりであって、第四次産業革命を先行的に体現する最先端都市となる「スーパーシティ」の構想を実現するため、内閣府特命担当大臣（地方創生）の下、「スーパーシティ」構想の実現に向けた有識者懇談会を開催しています。

- ・ 「スーパーシティ」構想の実現に向けた有識者懇談会

▶ スーパーシティ/スマートシティの相互運用性の確保等に関する検討会



図表1 - スマートシティにおける連携レイヤー³

スーパーシティ/スマートシティのあるべき姿

- サービス間連携
 - 政府が特定の技術を決めて推進するのではなく、できるだけ多様性を許容しながら、異なるサービス間相互の相乗効果をできる限り追求する
- オープン性
 - 常にオープンな連携を可能にするためのAPIを備える
- 住民参加
 - 住民参加によって多様なサービスを構築・利用する
- 主体性
 - システムの構築を事業者任せにしない

スーパーシティ/スマートシティの相互運用性の確保等に関する検討会 最終報告書

令和2年9月
スーパーシティ/スマートシティの相互運用性の確保等に関する検討会

相互運用性に関する基本原則（プリンシプル）

- 住民が抱える課題を解決し、便益がもたらされているかどうかを重視する
- データ連携では、相乗効果の追求を徹底する
 - 収集されるデータは課題を解決するための必要最小限で
- データの管理に透明性を持つ
 - どんなデータがどう使われているのか？を利用者に公開し、適切に同意を取る

利用者中心でサービスを考え直す

- 第1条 利用者のニーズから出発する
- 第2条 事実を詳細に把握する
- 第3条 エンドツーエンドで考える
- 第4条 全ての関係者に気を配る
- 第5条 サービスはシンプルにする
- 第6条 デジタル技術を活用し、サービスの価値を高める
- 第7条 利用者の日常体験に溶け込む
- 第8条 自分で作りすぎない
- 第9条 オープンにサービスを作る
- 第10条 何度も繰り返す
- 第11条 一遍にやらず、一貫してやる
- 第12条 システムではなくサービスを作る

人間中心のスマートシティとは？

今こそ、市民中心のまちづくりが必要だ

皆で考える
VISION + 皆でつくる
社会 = 豊かで
幸福な地域

D I Y 都 市

を 作 ろ う



まちについてともに考え、ともにつくる人を増やす

DIY(Do it Yourself) 都市の要件

- 幸福な街をつくる
みんなが目指せる指標で、手段と目的を一致させる
- みんなが意思決定に参加できる
多様な意見を集め、データを元に透明性を持って議論する
- オープンにつくる
失敗をも学習機会に変える。世界に貢献する。仲間を作る。
- 皆でつくる
地域や組織の垣根を超えて、協働する。仲間を作る

A person wearing a green dress and dark shoes is walking away from the camera on a paved path. The path is marked with a white line. The background is a dark, textured surface, possibly asphalt or concrete, with some dry leaves scattered around. The overall tone is muted and artistic.

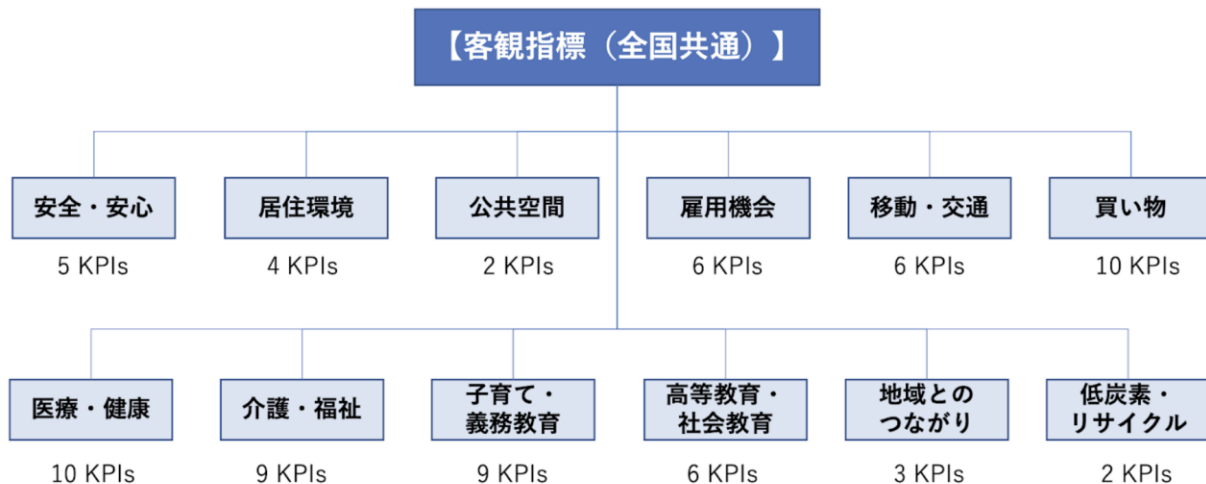
大事なものは、地域住民が
幸せで、豊かに暮らせること

Smart City Institute Japan と提携し、日本 版の客観指標を 利用予定

客観指標（全国共通） ベータ版の指標構成

RMITのLiveability Indicatorを日本にあるように翻訳

- 12カテゴリー（計72KPI）で構成 ～ データの入手可能性等を勘案の上、順次、進化させていく
- 基本的に「欲しいサービスや場が十分（対人口密度）にあるか（Availability）」と「それは近く（徒歩圏）にあるか（Accessibility）」の2面を指標化
- 絶対値と偏差値で表示





free open-source participatory democracy
for cities and organizations

[online demo](#)

**decidim is a digital platform
for citizen participation**

Free and safe technology.
With all democratic guarantees.
Reprogramming democracy is now possible with Decidim.

[play video ▶](#)

Decidimとは？

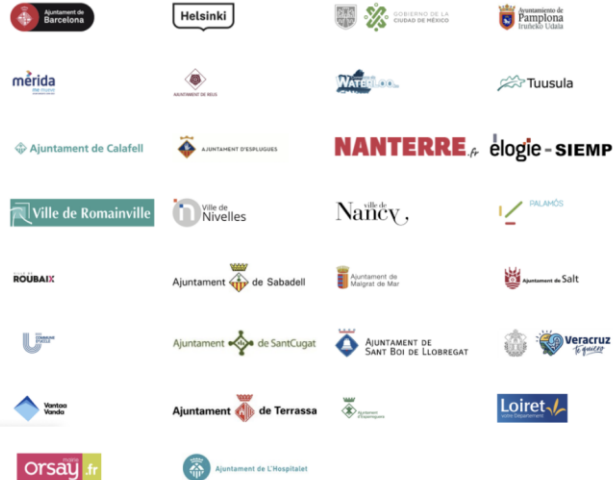
バルセロナやヘルシンキなどで使われている、参加型民主主義プロジェクトのためのツール。

オンラインで多様な市民の意見を集め、議論を集約し、政策に結びつけていくための機能を提供している。

バルセロナのような都市レベル、地域政府レベル、Fundacionのような非営利団体、そしてDecidimコミュニティといったコミュニティ活動でも利用されている

30を超える自治体で利用

cities



regions



organizations



バルセロナでの利用イメージ

政策づくりに参加するプロセス

評議会や、地域ごとの会議体に対して意見や相談を言える場所

The image shows the homepage of the 'decidim.barcelona' website. At the top, there is a navigation bar with the logo 'DECIDIM.BARCELONA' on the left, a search bar with the text 'Q 探す', and several menu items: 'カタロニア語', 'レジストラ', 'エントラ', and a globe icon. Below the navigation bar, there are five red-bordered boxes containing the text: '参加型プロセス', '参加スペース', '取り組み', '説明責任', and '助けて'. Red lines connect these boxes to callout text on the left and right sides of the slide. The main content area features a large photograph of a busy city street with pedestrians and cyclists. Overlaid on the photo is the text 'バルセロナを作らしよう!' in large white characters, and a red button with the text '参加します!' below it. At the bottom of the page, there is a paragraph of text in Japanese and a 'レジストラ' button with a right-pointing arrow.

市の計画や予算、決算などを見れる場所

署名を集めるようなキャンペーンを行える場所

参加型プラットフォームdecidim.barcelonaへようこそ。
私たちは、よりオープンで透明性があり、協力的な社会を構築します。
参加、参加、決定。

レジストラ ▶

Decidim の特徴

パブリックコメントのようなものとは違い、意見を言った人に対するフィードバックを行える。また、計画策定の間
のプロセスが設計されており、徐々に議論を収束させていくことができる。

デジタルな参加と、物理的な会議のプロセスを融合させ、
デジタル・デバイドの問題を解消している

議論やデータが可視化されるため、納得解が得やすい

プロセスのフェーズ

- 2020年3月1日～2020年5月22日
討論と提案の収集

フェーズは、Municipal Action Programming (PAM) およびDistrict Action Program (PAD) の最初の文書を分析し、最初の文書を補完および改善するための提案を収集することを目的としました。対面式のスペース（テーマ別または地域の会議、公共スペースへのモバイル参加ポイント）およびプラットフォーム自体を通じて、提案を行うことができます。

各個人または団体は、PAMまたは地区PADに含まれる最大10の提案を提出できます。
- 01-07-2020-30-09-2020
提案の政治的および技術的評価

前のフェーズで受け取った提案は、その実行可能性を検証する技術的評価に合格しています。政治的評価も行われ、政府の戦略的優先事項に適合するかどうかが判断されます。
- 7.7
戻る

情報の段階と参加型プロセスの結果の普及。この情報と普及のタスクは、適切と見なされる参加スペースを通じて、また事実上、decidim.barcelonaを通じて実行されます。
- 7.7
追跡

返事が行われると、参加型プロセス中に確立されたコミットメントの進展の定期的な監視と評価が行われます。PAMとPADの実行の程度は、このプラットフォームを通じて監視されます。

バルセロナの市民行動計画
のプロセス例（訳がおかしいが、「戻る」は実行
フェーズだと思われる）

Decidim が備える機能



戦略立案



参加型予算編成



住民参加型計画立案



署名活動や市民相談受付



討論

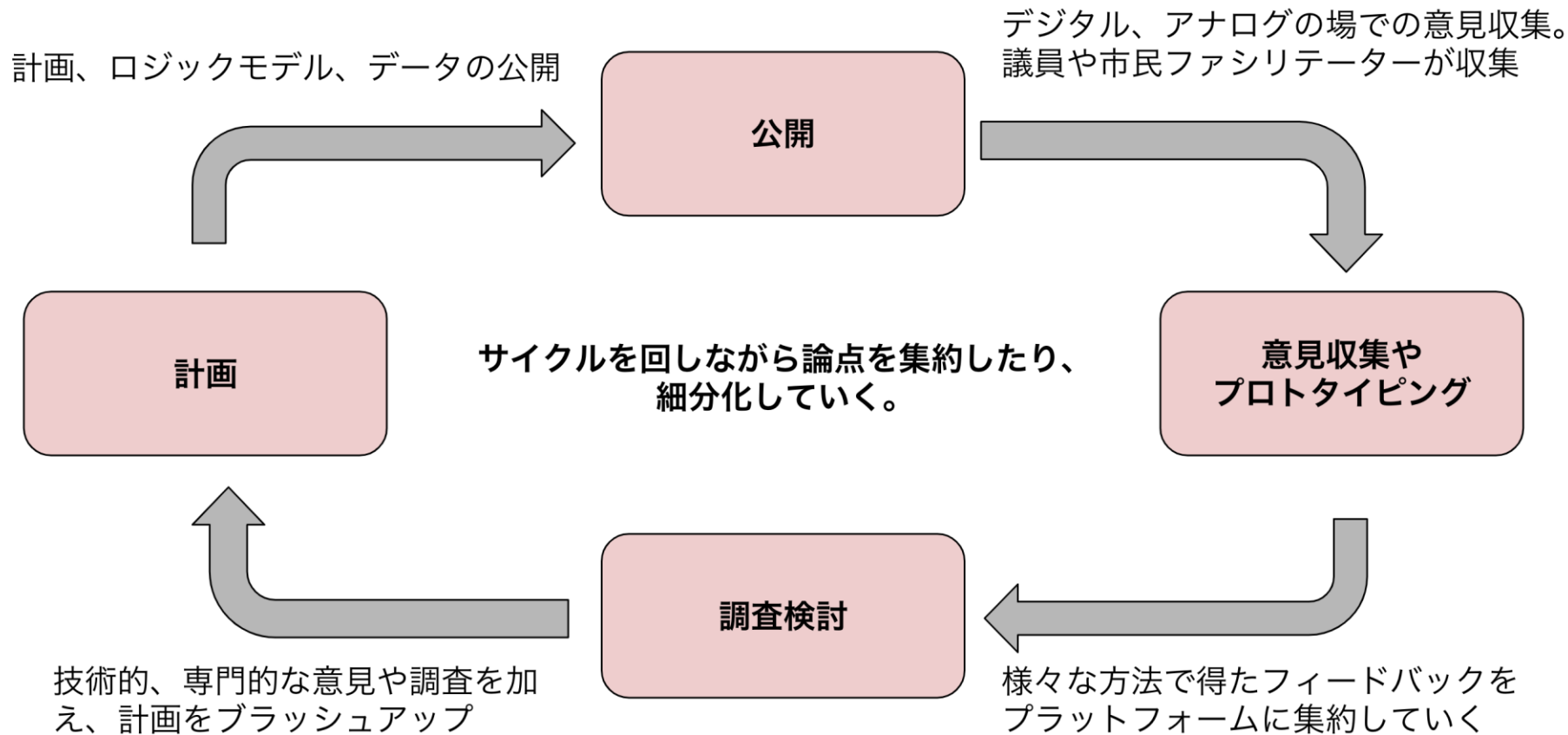


住民ネットワークと
コミュニケーション

Decidimの実績

バルセロナ市の自治体行動計画（PAM）の提案書を提出するプロセスには、12万人（バルセロナの人口の7.5%）が参加した。提出された**10,860件の提案のうち、1,467件**が公式のPAMに盛り込まれた。プラットフォームの立ち上げ以来、作成された13,957件のうち、**9,828件の提案が受理されている。**

フィードバックサイクルを早くする



加古川市で利用中

まずはスマートシティの
構想づくりからスタート

Code for Japan が
ファシリテーション役に

利用状況をみながら、
徐々に利用を拡大予定

The screenshot shows the homepage of the '加古川市 市民参加型合意形成プラットフォーム' (Kagawa City Citizen Participation Consensus Building Platform). The header includes the site name, a search bar, and navigation links for 'ホーム' (Home), '参加型プロセス' (Participatory Process), '参加スペース' (Participation Space), and 'ヘルプ' (Help). The main banner features a cityscape with a river and the text 'かこがわの未来へ想いをつなごう' (Connect your thoughts to the future of Kagawa). A prominent orange '参加' (Participate) button is centered on the banner. Below the banner, there's a secondary navigation bar and a section titled '加古川市スマートシティ構想' (Kagawa City Smart City Vision) with a sub-header 'スマートシティ構想についての意見収集プロセスです。' (This is the process for collecting opinions on the smart city vision). A white box on the right indicates 'アイデア収集フェーズ' (Idea Collection Phase) with dates '2020/10/30 - 2020/11/27' and 'プロセスのフェーズ' (Phase of the process).

プロセス 1：市民のQOLや利便性を向上するサービス 2：ICTを活用した都市機能の強化や都市課題の解決 3：デジタル行政の推進

The screenshot shows a forum page titled '7 個のディベート数' (7 Debates). It features a search bar and filters for 'ステータス' (Status) and '起案者' (Proposer). The main content area displays two debate cards. The first card is titled '3. 欲しい情報がすぐ手に入る効果的な情報発信' (Effective information dissemination where desired information is easily accessible) and is a '公式のディベート' (Official Debate). It includes a description: 'さまざまな情報発信ツールにより、市の情報を発信しています。かこがわアプリについて SNS等について' (Using various information dissemination tools, we disseminate city information. About the Kagawa app, SNS, etc.). It shows a creation date of '29/10/2020', a 'フォロー済' (Followed) status, and '0' comments. A red '参加' (Participate) button is at the bottom. The second card is titled '4. 安心して子育てをできるまちづくり' (Creating a city where you can raise children with peace of mind) and is also a '公式のディベート'. It includes a description: '様々な子育て施策を実施しています。かこたんナビについてファミサポト制度について チャレンジクラブについて。見守りカメラによる見守りサービスを提供しています。見守りカメラについて見守りサービスについて' (We are implementing various childcare policies. About Kakotan Navi, the family support system, Challenge Club, etc. We provide a watchful eye service using watchful eye cameras. About watchful eye cameras, watchful eye services, etc.). It shows a creation date of '29/10/2020', a 'フォロー済' (Followed) status, and '0' comments. A red '参加' (Participate) button is at the bottom.

「ともにつくる」
市民を増やそう

Re: DESIGN

EDJ CODE for JAPAN
SUMMIT 2020